

第 2 回

あえて言う「読むより、描け！」

(氏名)

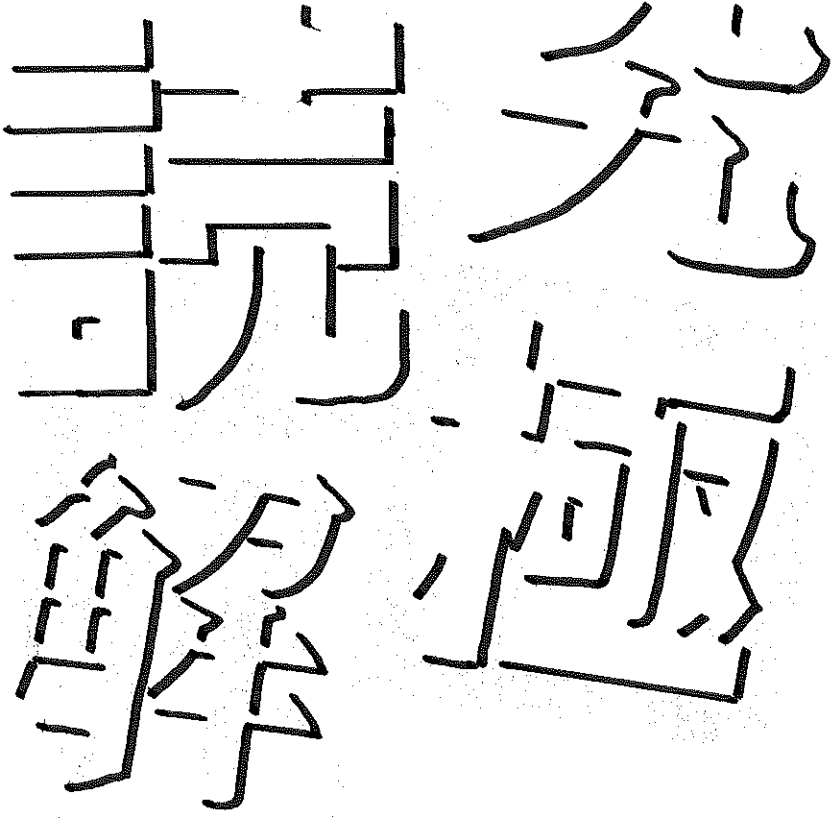
入門編・論説文2 構造をつかみ、図にして解決

目標…文章構造図をしつかり定着  
難しい文を図にして理解する

おしめえをこれっばか  
読んだだけでできた！  
けなるいらあ。

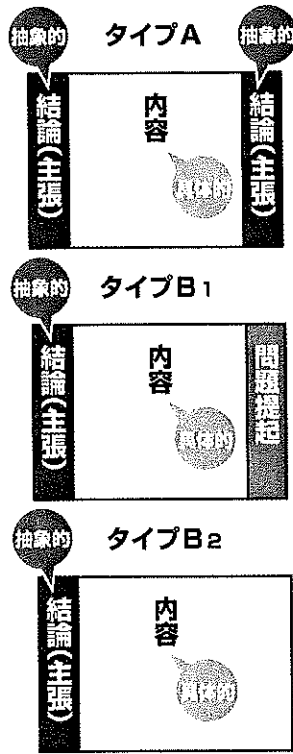
最後をたったこれだけ読んだだけで  
できた。うらやましいですよ。

—長野県の猿左衛門さん



# 1 エライのは肉まん、あんまん？

復習です。もう一度、次の図を見てください。思い出しましたね。



では、理解を完全にするために、作文をしましょう。心配ありません。とてもかんたんです。まず例を見せましょう。

タイトルは「太平洋と大西洋のどちらがえらい」です。

段落構成は次のようにします。

- ① 問題提起
- ② 具体例を二つ
- ③ 結論

どちらがえらいと思いませんか？ では、「太平洋」がえらい、という例文です。なお、文章の中身は、事実とは何の関係ありません。

## ■ 例題 太平洋と大西洋のどちらがえらい

① 太平洋と大西洋ではどちらがえらいのだろうか。私の意見は次のとおりだ。

② 第一に、太平洋は広い。世界一広い海である。広いということはすばらしいことなのだ。第二に、太平洋は深い。世界で一番深い場所は日本からそう遠くないところである。深いということもすばらしい。

③ 以上の理由から、太平洋は大西洋よりえらい、とする。

ばかばかしい文章です。でも、これが論説文（以後、この本では、説明的文章を、特別な例外を除いて「論説文」と呼ぶことにします）の基本です。もう一度いいますが、これからの練習では、みなさんが書いたことが事実として正しいかどうかは問いません。正しい構造の文章を書きさえすればよいのです。

では、例題。タイトルは「肉まんとあんまんはどちらがえらい」です。段落構成は次のとおり。「太平洋」と同じです。

- ① 問題提起
- ② 具体例を二つ
- ③ 結論

困ったら、「太平洋」の例文を見てかまいません。また、理由は無理やりこじつけてください。では、書きましょう。

ここは書きかておいてよい。口頭でバツバツと確認。

■例題 肉まんとおんまんはどちらがえらい

① 問題提起

肉まんとおんまんはどちらがえらいだろうか。

② 具体例を二つ

第一に、おんまんは、肉まんや他の具材と区別するため、食紅で中央に印をつけたものもある。おんまんは特別な存在なのだ。第二に、おんまんの具材には動物性のものはない。殺生をしないというのは尊いことである。

③ 結論

以上の理由から、おんまんは肉まんよりえらい、とする。

われ、よう見たらピザまんやんけ

ギクッ……

書けましたか。これであなたも一人前の論説文作者（かもしれない……）。では、読解にもどります。次は、難しい文章に挑戦です。

確認です。結論をつかもうと思ったら、真っ先にどの段落に目を通しますか？ 次の空欄に書いてください。

「最後」の段落

いいですね？ 「最後」の段落です。その次は、最初の段落です。「タイトル」も忘れずに。

ではもう一つ確認。最後の段落の中では、まずどこを読めばいいですか？ 書いてください。

「最後」の文

そう、最後の文です。次はやはり、その段落の最初の文です。

では、その文が、どんな感じの文だったら、「どうやらこれが結論（主張）らしい」と考えられますか？

「抽象」的な文

いいですね？

**抽象**的な文 —— 漢字で書けるようにしてください

## 2 文明は文化が好物なの？

では、東京都立戸山高校の入試問題（2009年度）。ものすごく長くて難しい文章です。その「最後の段落」だけ抜き出します。どうぞ。

### ■例題 東京都立戸山高校 2009年度

科学技術と市場経済に支配されたグローバル文明の  
 潜勢力は、巨大である。そのため、その津波のような勢  
 いの前に、諸文化の差異は薄められ、その多様性と独自  
 性は失われていく。そして、一様化され、画一化された  
 単一な文明が形成される。二十世紀以来のことではある  
 が、二十一世紀は、均一化された文明がこの地球を包摂す  
 ることになるであろう。世界の合一化とはそのことにはか  
 ならない。こうして、全地球的に覆い尽くされた巨大な物  
 質文明の中に、今までのあらゆる文化が呑み込まれていく  
 ことになる。

※1表に現れない潜在的な力 ※2つつみこむ・とりこむ

（小林道憲「不安な時代、そして文明の衰退」による）

——どうですか、難しいですね。でも大丈夫。いっしょに読み進めましょう。

まず、一番大切なのはどこか。第一の候補は「**最後**」の文、でしたね。思い出してください。

はい**最後**の文です。もし、最後の文があまりそれらしくなかったら、その前の文、場合によってはさらにその前、とさかのぼっていけばよいのです。

では、最後の文が「それらしい」かどうかは「**抽象**」的であることが、目安になるんですよ。何的ですか？

はい**抽象**的ですね。具体的なことが詳しく書かれている部分は、たいてい重要な箇所ではありません。あくまでも「例」に過ぎないことがほとんどです。

では、最後の文を読みましょう。

こうして、全地球的に覆い尽くされた巨大な物質文明の中に、今までのあらゆる文化が呑み込まれていくことになる。

難しい。難しいと思った場合のいい方法を教えましょう。



## 入試では、難しい文を完全に理解する必要はない

本当です。文章を全部、きちんと理解する必要はありません。無理をすると、時間がかかり、混乱し、かえって大変です。

次の文を読んでください。「私はベナプソを許せない——ベナプソが何なのかわかりませんね（書いている私にもわかりません）。でも、ベナプソを許せないことはわかります。「ベナプソ」が「Schwanensee（白鳥の湖）」でも「阿豆利爲<sup>あてりゐい</sup>」でも何でもかまいません。そこで、さっきの「最後の文」をもう一回見てください。

「抽象的」ですか？「抽象的」ですね。どうやらここが結論（主張）のような感じはします。タイトルと比べましょう。タイトルは「不安な時代、そして文明の衰退」。「文明」が共通しています。そして、なんとなくあまり気分のいい話ではなさそうなことも。

そこで、この最後の文を「ていねいに」読みます。

「ていねいに」読むというのは、言葉を一つ一つきちんと区切り、意味をつかんで読む、ということなのです。ただゆっくり読んでも意味はありません。そこで、とても重要な「読み方」を二つ教えます。

### 重要!

- ① 述語から ↓ 主語 ↓ 関連する語にマーク
- ② 文を図にかき直す

この二つを守ってください。では、はじめます。まず「述語」を見つけ、マークしてください。

述語は文の一番大切な部品です。そして「文の最後」が、ほぼ定位置です。なお、文法的に厳密な意味での「述語」というよりも「どうした・くである」の部分「述部」にマークする、ということですから——何を意味しているかが大切なのです。

こうして、全地球的に覆い尽くされた巨大な物質文明の中に、今までのあらゆる文化が呑み込まれていくことになる。

みつかりましたね。呑み込まれていくことになる。ですね。すると、当然「何が？」「何に？」という疑問が浮かびます。これで主語や（英語でいう）目的語をさがすことになりますね。では、「何が」「何に」「呑み込まれていく」を書いてください。

「文化」が  
「物質文明」に 呑み込まれていく

書けましたか？

「文化」が「物質文明」に呑み込まれていく

抽象的でわかりにくいですね。第一、文化が文明に呑み込まれるなどという事件が、現実には起こるわけではありません。たとえば、具体的ではありません。だから、結論（主張）らしいわけです。

さて、次のステップです。このような抽象的なものは、図にしてしまいます。難しく考える必要はありません。文明が文化を呑み込む様子を図にするのです。そうするといろいろなことが、一目でわかります。

では、描いてください。



どんな図でしょうか。正解はありませんがたとえばこんな感じでしょうか。

さあ、この難しい文章も、何が書かれているのかといえは、この図であらわした、これだけのことなのです。  
では、最後の文にもう一度注目。

こうして、全地球的に覆い尽くされた巨大な物質文明の中に、今までのあらゆる文化が呑み込まれていくことになる。

右の例のように、必ずマークしてくださいね。

文のはじめに「こうして」とあります。「これ」「それ」「あれ」「どれ」をまとめて「こそあど言葉」といいます。「指示語」。知ってま  
すね。指示語が指示する「本体」はどこにあるのか、書いてください。

指示語の指示するものは「**直前**」にある

**すく前、直前**など、意味があつていればよろしい。これも読解の大切なポイントです。おぼえておきましょう。



## 重要!

指示語の指示するものは「直前」にある

最後の文の先頭の「このように」を確かめるためにすぐ前の文を読みます。なお、最後から二番目の文にも指示語「そのこと」があるので、もうひとつ前までセットにし、文に番号をつけます。

- ① 二十世紀以来のことではあるが、二十一世紀は、均一化された文明がこの地球を包摂ほうせつすることになるであろう。
- ② 世界の合一化とはそのことにほかならない。③ こうして、全地球的に覆い尽くされた巨大な物質文明の中に、今までのあらゆる文化が呑み込まれていくことになる。

ではそれぞれの文の内容を、「主語・述語」を中心に、順番に並べます（文を区切ってあります）。

- ① 文明が 地球を 包摂する (包み込む)
  - ② 世界の 合一化とは そのこと
  - ③ こうして あらゆる文化が 物質文明に 呑み込まれていく
- 次に、指示語を、直前にある「本体」と結んでみましょう。



この図を式で表すと次のようになります。

文明が地球を包み込む || 世界の合一化  
|| 文化が文明に呑まれる

気づきましたか？  
要するに同じことを表現を変えてくり返しているだけなのです。では、思い出してください。くり返されている内容は、どんなものでしたか？ 書いてください。

くり返される内容 || 重要  
|| 筆者の「結論(主張)」の可能性が大きい

書けましたか？ はい「結論(主張)」ですね。

これで、この文章が何を言おうとしているか、よくわからないけど、はっきりわかりましたね（笑）。

文明が文化を呑み込んで、世界をひとつにしてしまう、というのです。筆者はそれをいいことだといっているように感じますか？

感じませんね。あまりよいこととは考えていないようです。

さて、ダメ押しをします。ページを戻して段落を全部読んでください。

どうでしたか？

どこもかしこも同じことが書いてあるように感じませんでしたか？ そのとおりです。「くだいなあ」と思った人はいますか？

あなたは正しい。

論説文というものは次のようなものなのです。

**重要!**

論説文Ⅱ 結論（主張）を、例を挙げ、表現を変えて繰り返して、読み手を説得する文章

いきなり「文化が文明に呑まれてしまう」といわれて「うん、確かに」と納得する人はいませんよね。だから、くだいのです。

さあ、これで「ていねいに読む」はいったんおしまいです。お疲れさまでした。いよいよ問題を解きます。この文章による入試問題は、全部で5問でした。そのうち、この段落の内容とのかかわりが薄い問1と、作文問題の問4をのぞく3問を、一気に解いてしまいます。

なんくるないさー

どうにかなるさ

——沖繩県のシサ男さん





### 3 文明のような勢いで解きまくれ!

では、一番難しい最後の設問、問5からどうぞ。

問5 筆者が本文で述べている内容と一致するものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ア 現代では、地域に根差す文化的な差異や多様性が、個性的な生き方をきわだたせている。
- イ 現代では、画一化、標準化の大きな力によって、諸文化の独自性や多様性が失われている。
- ウ 現代では、空間が均質化したとはいえ、時間については、地域の伝統的な暦が日常生活を支配している。
- エ 現代では、伝統的な世界観や生活様式が、巨大な力となつて世界標準の形成をはばんでいる。

要するに、これまで何回も確認してきたことと一番近いものはどれか、という質問です。よく読んで書いてください。

問5 解答「イ」

どうですか? 「これ……でも、わかりやすすぎないかな……何かひっかけが……」と思つた人はいませんか? 何もありません。読んだとおり「イ」です。重要なところをていねいに(精密に)読めば、答えは必ず姿を現します。では、次。問3にもどります。

問3 — 傍線部③「このことは、例えば、言語について

- も言える。」とあるが、「言語について」も、どのようなことが言えるというのか、その説明として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。
- ア 一様性が多様性を浸食する。
  - イ 一様性の上に多様性がある。
  - ウ 多様性が一様性を抑止する。
  - エ 多様性が均質性を統一する。

「— 傍線部③はどこに?」本文のその部分はこの本にはありません。でも、すでにしっかり読み込んだ「最終段落」の内容と照らし合わせて、もっとも「よくあてはまるもの」を探せばそれが正解です。なぜなら「どこも同じことが書いてある」から。どうぞ。

問3 解答「ア」

選択肢の言葉の意味は難しいですね。でも、関係ありません。本文をよく読んでください。「一様」が何で「多様」が何かわかればもうおしまいです。

はい、「二様＝文明」「多様＝文化」ですね。これがわかれば解答は「ア」以外、選べないはずですよ。困ったことに、本文も読まずに難関高校の難問を解決してしまいました(笑)。では、もう一つ。

問2 —— 傍線部②「現代では、この一様化した文明的空間

間が、地球の表面を覆っている。」とあるが、「一様化した文明的空間」と対比されることとして最も適切なのはどれか、次のうちから選びなさい。

- ア 画一性を持った歴史的空間
- イ 個別性を持った宗教的空間
- ウ 記号性を持った言語的空間
- エ 多様性を持った文化的空間

これも何やらめんどろな言葉がならんでいます。まず、設問をしっかり読みましょう。

何が問われているのですか。質問に正しく答えるためには「何を答えればいいのか」をただしく理解することが第一歩であり、また、

ほぼすべてといってもいいくらいです。では、「設問の読解」です。答えるべきことは何か？ 設問の文にマークしてください。

問2 —— 傍線部③「現代では、この一様化した文明的空間

間が、地球の表面を覆っている。」とあるが、「一様化した文明的空間」と対比されることとして最も適切なのはどれか、次のうちから選びなさい。

マークの例は「一様化した文明的空間と対比されること」です。だいたいここにマークできていれば合格。「文明と対比されるもの」を答えろ、といっているわけです。「対比」これはとても大切な言葉です。論説文でも小説でも何回も何回も出ますから。ほとんどの文章は、何かと何かを対比させて書かれています。「日本と外国」「現代と昔」「都会と田舎」「仲間と孤独」「騒音と静寂」「自然と人工」「愛情と憎しみ」——どうですか、見たことがあるはずですよ。

この文章では「文明と文化」ですね。では解答をどうぞ。

問2 解答 「

エ

」



## 秘密兵器



入試でのみなさんの最大の敵は、「時間」です。入試が、日ごりの学習と違う点は、制限時間があるということなのです。学校でのテストで、残り時間が少なくなると、あせってミスをした、という経験をしたことがない人は少ないはず。

そこで、限られた時間との戦いに勝つための、究極読解オススメの秘密兵器を紹介しましょう。

それは《受験票》——。「はあ？」という声が聞こえそうですが、最後まで読んでください。

正しくは《受験票を使った字数カウンター》です。

### ■字数カウンター■

たとえば八十字くらいの記述式解答の問題。素材は本文中にあります。文字数を数えるのが大変です。ちょっと目を離すと「あれ、何字だった？」となります。このとき、受験票の「すみ」を使うのです。受験票を本文のどこかにあてがいます。そして、五字・十字・十五字……と、だいたい五字ごとに目盛りを書き込みます。これで《字数カウンター》のできあがり。

キーワードを探しながら、受験票を本文の横にそえ、字数を数えます。これで、速さと正確さが確実に向上します。

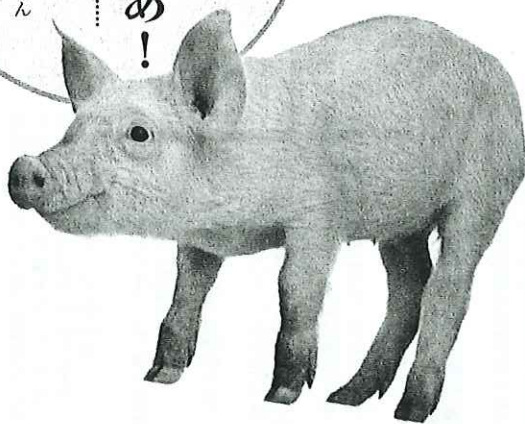
まずは試し、練習しましょう。入試の勝敗を受験票が決める、というも悪くないはず。

合格の日、この受験票が、二重の意味であなたの宝ものになるはず。

おやつとさあ！

お疲れさまー

——鹿児島県の豚児さん



まんず、  
じよさねで  
どでんしただべ

まあ、かんたんで、  
びっくりしたでしょ

——秋田県の犬丸さん



図にまでしましたからね。思い出せますね。文明と対比されているものは文化です。そうすると正解はどうしても「エ」になってしまいます。「二様性（文明）」と多様性（文化）」を比較したことも、強力な手がかりになるでしょう。

かんたんに終わってしまいましたね。お疲れさまでした。

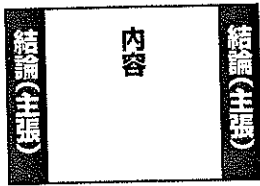
では、次のページで最後の「締め」に進みます。ここまでのポイントをまとめます。すべて・完全に理解し、おぼえてください。

**重要!**

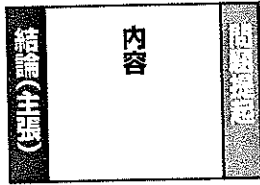
**論説文の構造**

結論（主張） 抽象的な内容  
 +  
 内容（具体例など） 具体的なこと

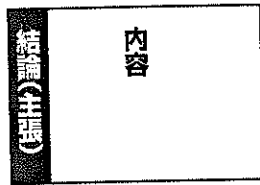
タイプA



タイプB1



タイプB2



※特に多いのは タイプB1  
 ※段落の構造も、同じようなパターンである

**重要!**

**解法の手順**

- ① 結論（主張）をつかむ
  - 1 最後の段落の最後の文からチェック
  - 2 抽象的な文・くり返される語句・「つまり」などが目印
  - 3 述語↓主語↓それらに関連する語の順にマークし、分析する
- ② 設問の文を精密に読む（次回以降）
  - 1 「何」を答えるのか、の部分にマークする
  - 2 「どう」答えるのか、の部分にマークする
- ③ 本文から解答のキーワードを探索（次回以降）



これだけ。  
 なまらだいじだべさ！

……これだけ。とても大事だよ！

——北海道の狐次郎さん